

スマイル タウン

2018
8月
号

第296号

ひの社会教育センターは、市民のみなさんの“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する施設として、1969年に日野市と財団法人社会教育協会が協定書に基づいて設置しました。今月もセンターで生まれるたくさんの学びの様子をお届けします。

ひの社会教育センター夏事業、始動！

7月下旬より、一か月にわたり、たくさんのごどもたちの熱い夏が始まります。

今年の夏も、ひの自然学校では、日帰り川遊びから4泊5日の式根島キャンプまで全14のコースで子どもたちと最高の夏休みを共有します。参加予定者は現在587名！どのコースもキャンセル待ちになるほど大人気です。

キャンプを語る上で重要なのが、ボランティアリーダーです。6月16・17日で、一足早く夏のキャンプに向けたリーダー研修会を山梨県で行いました。今年度は、他団体との交流や情報交換も目的とし、新潟県六日町で「子ども自然体験村」を運営している武宮さんを講師に、現地リーダーも加えた合同研修会でした。

団体ごとで異なるレクの種類や、テントの設置手順、野外炊飯、川遊び、安全管理の方法を学び合ひ、他を知ることで日頃のやり方などを検証する、よい機会となりました。

また、ひの自然学校では、私たちが学んできた環境に負荷をかけない取り組みをさらに発展させるため、「Leave no trace」という環境負荷軽減に向けた行動原則を提唱する国際的な団体のオフィシャルパートナーになっていきます。「7つの行動原則」をリーダーと共有していくとともに、子どもたちにも伝えていくように様々な取り組みを進めています。

今年の夏も、自然に優しく子どもたちのココロを動かすキャンプを、関わるみんなで創っていきましょう！

ひの自然学校の
夏がきた！

のべ120名のリーダーがこの夏、大暴れ！



Leave No Trace (LNT) 7つの行動原則

- ① (環境面での) 事前の計画と準備をしよう
- ② 影響の少ない場所で活動しよう
- ③ ゴミや排水は適切に処理しよう
- ④ 見たものはそのままに、自然を変えないようにしよう
- ⑤ たき火の影響を最小限にとどめよう
- ⑥ 野生生物のくらしを尊重しよう
- ⑦ 他の利用者にも配慮しよう



今まで私たちが環境に配慮しながら活動してきた中身を発展させられる取り組みとして、この行動原則を推進します。日常生活や外遊びの際に、ぜひみなさんも意識してみてくださいね！小さいが、しかし確実なエコへの一歩を。



「朗読基礎講座」

月曜 午前10時～12時 月3回
10月22日 朗読講座合同発表会開催！

まずは、発声練習からスタートします。「外郎売(うしろうり)」という歌舞伎十八番の演目の一つを、声を合わせて読み上げますが、これは劇団やアナウンサー養成などで使われる滑舌練習として有名なもの(ぶぐばぐ・ぶぐばぐ・みぶぐばぐの早口言葉、朝ドラで聞いたことがあります！)。ゆっくり読むと8分もの長さですが、中には暗唱している方もいました。その後は、発表会用に各自選んだ作品の朗読にすすみます。講師の、

井ノ口 勲(いのくちいさお)先生は、一人一人に、「もう少し口を縦に開けることを意識して」や、「段落で変化をつけてみて」と細かく声をかけます。



井ノ口先生のよくとおる声・的確な指導

作品内容を表現する。人物の喜怒哀楽や柄・性格をセリフの部分で表現し、情景が浮かぶようにとのこと。物語のあらすじと、登場人物の感情の起伏をも声や読み方、抑揚で表現していく、というのはなるほど朗読とは奥が深いです。

発表会では、作品にあった音楽をかけ、朗読の雰囲気盛り上げます。個人の発表と全体での部門に分かれて構成され、全体では「島崎藤村―その青春の詩―」を発表。先生の「発表会本番には今よりもっとうまくなっているはずですよ」という心地よいプレッシャーを受け、会員の皆さんはやりがいを感じられている様子でした。

先生のお話には、「年輪を経た方が味わいがでて、深みが増す。巧みじゃなくても心をうつ、そんな表現を伝えていきたい」という思いが込められていました。

発表会は10月22日(月) 13時半よりひの社会教育センターにて。うら面には、会員の皆さんへのインタビューです。



▼工事現場、室内の様子

新館タイムズ

新館建設の「いま」をお届け



新館の建設も、早いもので5か月目に入り、順調に建築が進んでいる状況です。外観では、外壁や窓枠もついたことで、かなり建物の概要がわかるようになってきています。また、室内空間においては、すべてのフロアにコンクリートが埋設され、さらに各部屋のしきりがつけられ、各フロアの室内のおおよその広

さもわかるようになってきました。新館には、待望のエレベーターも設置される予定で、これまで2階、3階と階段の利用で不便をかけていた皆様にも、安心して使ってもらえるような仕様になっていきます。これからの工事では、内壁を整え、さまざま室内の設備がすすめられます。秋ごろにはさらに完成にちかづいた様子をお知らせできるように考えています。なお、工事の合間をぬって工事現場の見学会も、定期的におこなっていきます。ぜひ、興味をもって新館建設にご協力をいただくとありがたいです。一層のご協力、どうぞよろしくお願いたします。(副館長 阿部)

長く続けている方の多いこの講座。声を出すこと・話す事で、脳が活性化され老化防止に良いと感じるとのこと。また、ただ読むだけではなく、伝えることの難しさが「深いです」と、口をそろえておっしゃっていました。もう一つの「午後の朗読講座」も受講している反田(そりた)さんは、表現することへの面白さから7年続けています。土屋さんは、保育士を退職されたときに、人前で話すことや絵本や紙芝居を読んでいた経験から、この講座を選びました。牧さんは、以前受講していた知り合いの方の発表会を見て、自分より年長だったその方が、とても若々しく見え感激したことがきっかけです。



「朗読基礎講座」の会員さんにお話をうかがいました。

唯一の男性、野上(のがみ)さんは、昨年手術をして以来、言葉が思うように出づらくなり、リハビリのつもりで続けています。守永さんは、カルチャーを始めたという思い、センターを訪れた際、たまたまその日に見学できたのがこの講座で、とても面白そうだったのでそのまますべされました。ここまですべたら良いというところがなく、楽しみがわかってきたところだそうです。(取材・野口)



▲後列左より守永さん土屋さん反田さん
前列左より野上さん 牧さん
美しい姿勢と腹式呼吸、健康にもよさそう。



講演会 開催報告
感情的にならない子育て！
子育て世代に大盛況！

6月16日に、「育児雑誌 miku」の編集長であり、認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク理事の高祖常子(こうそとこ)さんをお招きして講演会を行いました。「自分の感情をコントロールする」ということが、日々子育てに追われていると、とても難しいと感じている方たちに、「初めて親になるのだから戸惑いは当たり前。だからこそ、ひとりで子育てするのでなく、多くの人を力を借りて子どもとの時間を過ごしてください」と、お話ししていました。地域に知り合いがいけないなか、子育てをしている方も多いと感じていきます。



参加者は定員を超す27名。子育て真っ最中のみなさん、パパの姿もちらほらあり、関心の高さがうかがえます。私たちも、役割を再確認することができました。ぜひモグモグに遊びにいらしてください。一緒に悩み、喜びあいながら子育てしましょう。(担当・栗澤)

▲講師の高祖さんを囲んで、お子さん連れの方も多く、にぎやかな会でした。

9月7日(金)

開館50周年を語る
タイムマシン
食堂(親睦会)
のご案内

19時半スタート!
歴代リーダー、
参加者、大集合!

みんな、来てね!

問い合わせ：
担当 渡邊・栗澤

詳細は
HPを!



賛助会へのご協力 ありがとうございます

★年会費 (順不同・敬称略 6/1~6/30)

- ①個人会員 1口 1,000
池上洋通 10口
- ②団体会員 1口 5,000円
多摩平寿楽会 2口 多摩平卓球サークル 7口

※日野社会教育センターへの支援と事業の普及、開かれた運営と経営の安定をはかるため皆様のご加入をお願いします。

スマイルタウン発行:(公財)社会教育協会日野社会教育センター
発行責任者:館長 島崎 成利 〒191-0062 東京都日野市多摩平 4-3
電話 042-582-3136 FAX 042-581-0647

新館建設寄付者ご芳名 6/1~6/30 ご寄付いただいた方

※都合によりお載せしていない方もおられます。

オカリナ教室有志 若杉禎宏
多摩平卓球サークル

(順不同・敬称略)

現在の募金総額 6/30 現在
343名+募金箱

¥20,599,221-



おかげさまで
2,000万円!!

【お知らせ】日野社会教育センターでは、冷房機の故障に伴い、今季は代替機による運転を行っております。ご利用の皆様には、お部屋の移動や、冷房機能・運転音等、ご不便をおかけいたしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。